

「FPの家」グループ、誕生 40 周年記念全国大会を金沢で開催！ ～復興支援を掲げ加盟工務店が結集、次代を切り拓く「9つの武器」を発表～

住宅用断熱パネルの製造・販売を行う株式会社FPコーポレーション(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:五十嵐 健)が展開するボランタリーチェーン「FPの家」グループは、2026年6月3日(水)、石川県金沢市にて「FPの家グループ 40周年記念全国大会」を開催いたしました。

本大会は、グループ誕生40周年という記念すべき節目を祝うとともに、能登半島地震からの復興支援への想いを込めて金沢の地で開催。大会冒頭では、全国代表会員である株式会社手嶋組(福岡県)の手嶋誠一氏より、度重なる災害や資材不足が続く激動の時代だからこそ、独自の高性能パネルで「くらしといのちを守る」というグループの使命をまっとうしていく決意が述べられました。北海道から九州まで全国各地の加盟工務店、関連メーカー、代理店などの関係者が一堂に会し、これまでの歴史を紡いできた先人たちへの敬意と、これからの未来に向けた技術・事業承継への決意を新たにしました。また、大会前日にはグループの未来を担う次世代経営者が集結する「青年部会」も開催され、最新の技術研修やAI活用を学ぶなど、2日間にわたり熱気あふれるプログラムが展開されました。

■開催概要

日時:2026年6月3日(水) ※前日6月2日(火)に青年部会、翌日6月4日(木)に被災地視察を実施

場所:石川県金沢市

参加者:全国の「FPの家」加盟工務店、関連メーカー、代理店

【大会レポート】

1. 【前日開催】次世代経営者が集結！熱気あふれる「青年部会」

本大会の前日にあたる6月2日(火)には、「青年部会」を開催。全国各地から集まった未来を担う次世代経営者たちが、これからの工務店経営や実務に役立つ先進的なノウハウを共有し合いました。当日は、時に真剣な眼差しで聞き入り、時にどっと笑いが起きるようなアットホームで非常に前向きな熱気に包まれた時間となりました。

●第一部:「FPの家 施工・性能研修」(講師:株式会社アセットフォー 荒井貴好 氏)

断熱性能等級の改正や資材高騰など激動する業界現状を踏まえ、FPパネルの構造・断熱原理から経年劣化しにくい科学的根拠、結露対策などの実務に直結する施工品質管理の深掘り解説が行われました。

●第二部:「AIに仕事を奪われる前に、AIを部下にする90分」(講師:株式会社山下ホーム 山下雄ノ介 氏)

「AIを部下として使い倒そう」をテーマに、ChatGPT、Claude、Gemini等の使い分けや、顧客属性に合わせ

た営業トーク生成、施工事例文章作成やプレゼン実演など、工務店経営における即日実践可能な AI 活用ノウハウが共有されました。



「FPの家」の深掘り研修や最先端 AI の実践活用を、真剣かつ時に笑顔をつながら楽しそうに学ぶ、全国の次世代経営者たち

2. 金沢開催に込めた想い:復興への寄り添いと防災の再定義

40 周年という大きな節目において、開催地に金沢市を選定した背景には「北陸地域の復興を少しでも支援したい」というグループ全体の強い想いがあります。また、地震大国である日本において、住まいが果たすべき「命を守るシェルターとしての役割」を改めて見つめ直す、防災・減災を考える上でも極めて意義深い開催となりました。

3. 栄誉を称える:山下ホームが累計 1000 棟達成！「デザインアワード 2025」表彰式

大会の本編は、グループの優れた実績やデザインを称える表彰式から華やかに幕を開けました。全国の加盟店が手掛けた実例を競う「FPの家 DESIGN AWARD 2025」の受賞作品が発表され、見事栄冠に輝いた各工務店への表彰式が執り行われました。最優秀賞である GOLD には株式会社工藤工務店(千葉県)の「RANCH145」が輝いたほか、優れた高性能デザイン住宅が選出され、会場を大いに沸かせました。さらに、北信越地区で活躍し、前日の青年部会でも講師を務めた株式会社山下ホーム(富山県)が、「FPの家」令和 7 年度最多棟数賞を受賞。また、累計建築棟数 1,000 棟を達成し、全国表彰が授与。長年にわたり地域に高性能住宅を普及し続けてきた同社の功績に対し、会場からは割れんばかりの温かい拍手が送られました。

■「FPの家」DESIGN AWARD 2025 受賞結果

【GOLD】RANCH145 施工会員:株式会社工藤工務店(千葉県)

【SILVER】Koselig!余白が心地よい家 施工会員:想創舎 株式会社手嶋組(福岡県)

【BRONZE】ずっとずっと Green oasis に暮らす 施工会員:斉藤建築工業株式会社(茨城県)

【販売情報委員賞】のんびり、ヒラヤ 施工会員:株式会社千葉工務店(北海道)



(写真左)FPの家デザインアワード GOLD 受賞の工藤社長



(写真右)最多棟数賞と累積施工数 1,000 棟を達成した山下社長

4. FPコーポレーションより、次代を切り拓く「9つの武器」を発表

続いて、FPコーポレーションより、全国の加盟工務店が次の時代を勝ち抜き、地域でさらに強みを発揮するためのバックアップ策である「9つの武器」を発表いたしました。

具体的には、現在、株式会社 evoltz と共同開発を進めている「制振パネル」を軸とした技術革新をはじめ、厳格な構造計算ルールに基づき安全性とデザイン性を両立させた企画住宅、設計や提案業務の効率化・高度化をサポートする「オリジナル AI の開発」といった取り組みなどを説明。本部と加盟店が一体となって「FPの家」の価値を高めていく未来図を示しました。



(写真左)「9つの武器」を力強く発表し、加盟店との結束を促す (写真右)開発中の制振パネル

5. FPパネルの「耐震的余力」と制振「evoltz」の相乗効果:佐藤 実 氏(M's 構造設計)

構造計算の第一人者である株式会社 M's 構造設計 代表取締役社長の佐藤実氏が登壇し、「FPパネルの耐震性能向上効果」について講演を行いました。佐藤氏は、標準設計としての「耐震等級3」を満たした上で、あえて大臣認定壁倍率に頼らず、FPパネル自体が持つ高い壁倍率ポテンシャルを「耐震上の余力(耐震等級3+ α)」として残すアプローチの重要性を解説。さらに、壁倍率を持たない制振装置「evoltz(エボルツ)」を組み合わせることで、地震時の初期から耐震性能を保持しつつ変形を極小に抑え、気密性能も長く維持できる「最強の組み合わせ」になることをロジカルに解説しました。



(写真左)最強の組み合わせと講演される佐藤氏 (写真右)開発中のパネルには多くの会員工務店が関心を寄せる

6. 基調講演&パネルディスカッション:三浦 祐成 氏(新建新聞社 代表取締役社長)

大会の後半には、住宅業界のトレンド発信を牽引する株式会社新建新聞社 代表取締役社長の三浦祐成氏が登壇。「これからの高性能住宅～ポストナフサショックを見据えて」をテーマに、市場の先読みと工務店が取るべき戦略についての基調講演が行われました。

さらに、三浦氏をファシリテーターに迎え、「事業承継」をメインテーマにしたパネルディスカッションも実施。グループを黎明期から支えてきた先人世代と、これからの未来を担う現役・後継世代(前日の青年部会メンバー含む)が登壇し、地域に根ざす工務店が技術と信頼をどのように次の世代へとバトンタッチしていくか、リアルな経験談を交えた熱い議論が交わされました。



(写真左)三浦氏の基調講演 (写真右)パネルディスカッション風景

7. 【翌日実施】佐藤実氏と行く、能登半島地震 被災地視察

大会翌日の6月4日(木)には、構造の専門家である佐藤実氏の同行のもと、全国の加盟店メンバーによる被災地視察として、甚大な被害を受けた珠洲市と輪島市門前町を訪問いたしました。

発災から2年という年月が経過した今なお、現地に立って初めて肌で感じる地震被害の大きさや爪痕の深さを前に、参加者はその事実を厳粛に受け止めました。「FPの家」のブランドコピー「くらしといのちを守るため」に、自分たち工務店が果たすべき社会的役割と責任の重さを改めて共有。実際の被災状況から得た教訓を、今後のさらなる耐震性向上や住まいの安全対策へと確実に活かしていくための、極めて貴重な現地視察となりました。

■ 会社概要

会社名：株式会社FPコーポレーション

設立：2009年3月5日

代表者：代表取締役社長 五十嵐 健

所在地：札幌市東区北42条東15丁目1番1号 栄町ビル

資本金：7,000万円

コーポレートサイト <https://www.fpcorp.co.jp/>

「FPの家」web サイト <https://fp-ie.jp/>

【本件に関する問い合わせ】

株式会社FPコーポレーション 広報企画課 緒形 TEL:011-741-3382